

Bulletin

# The Lions Times

District 335-C

3

2011  
No.527

ガバナーテーマ

あす  
「未来を照らす改革への道」

アクティビティスローガン

「絆とともに価値ある奉仕」



今月の特集

年次大会呼びかけ  
2010年度冬期 YCE レポート

2011  
3

# 株式会社 樹下

<http://www.juge-kyoto.com>

## 天然石・ダイヤ輸入卸販売

Color	Clarity	Carat	Cut	価格	Color	Clarity	Carat	Cut	価格
H	SI2	1.016	VG	¥406,000	E	VS1	2.016	VG	¥4,032,000
H	VS2	1.029	EX	¥689,000	G	VS1	2.055	VG	¥3,082,000
D	VS1	1.041	3EXHC	¥1,561,000	E	VS2	2.019	3EXHC	¥3,331,000
E	VS2	1.038	3EXHC	¥1,089,000	F	SI1	2.004	EXHC	¥2,605,000
F	VS2	1.035	3EXHC	¥931,000	D	SI2	2.223	EX	¥2,889,000
D	VVS2	1.001	G	¥1,150,000	E	SI2	2.016	G	¥1,451,000
E	VS2	1.001	G	¥720,000	H	VS2	3.231	EX	¥5,977,000
F	VS2	1.004	VG	¥702,000	E	SI2	3.145	EX	¥3,931,000

鑑別書付きです。  
 上記以外にも多数取り揃えています。  
 在庫切れの場合はご了承くださいませ。  
 加工はご相談に応じます。  
 お気軽にお問い合わせ下さい。

〒600-8189

京都市下京区東洞院通五条下ル二丁目福島町515番地  
 TEL: 075-352-5498(代)

FAX: 075-352-5578

担当者 樹下 尚美

L 樹下 茂善 (京都南LC)

総合建築請負



株式会社 大石工務店

高い技術力でお客様に愛されて40年。  
 建築に関するあらゆるご相談に応じます。



京都嵐山ライオンズクラブ  
 ライオンズクラブ国際協会335-C地区  
 地区レオ・青少年指導委員長

大石 博之

(株式会社 大石工務店 代表取締役社長)

本店 / 〒607-8481

京都市山科区北花山中道町104番地の2  
 電話 (075) 591-3382 FAX (075) 594-5293

作業場 / 〒601-1392

京都府宇治市西笠取黒出原 5

L 大石 博之 (京都嵐山LC)



# 第57回 地区年次大会

We Serve (われわれは奉仕する)

大会テーマ「絆の光」

第57回ライオンズクラブ国際協会335-C地区年次大会が4月16日(土)に国立京都国際会館にて開催されます。ライオンズの心「人の喜びを我が喜びとし」自分に与えられた奉仕の心を共有するライオンズと、一つでも多き明るい光を求めて我々は研鑽していきたい。

心を一つにする同志よ、国立京都国際会館にご参集をお願い申し上げます。

地区年次大会委員長 金井 清治

ライオンズクラブ国際協会335-C地区

## 第57回年次大会 公式プログラム

開催日 2011年4月16日(土)

開催場所 代議員総会及び式典 国立京都国際会館  
懇親会 ホテルグランヴィア京都

### 時間および会場

9:00 - 9:30	代議員登録	1F	入口受付
9:30 - 9:55	資格審査委員会	1F	Room F
9:30 - 9:55	議事運営委員会	1F	Room G
9:30 - 9:55	指名・選挙委員会	1F	Room H
10:00 - 12:15	代議員総会	2F	Room A
12:15 - 13:00	式典受付	1F	入口受付
13:00 - 15:30	式典	1F	メインホール
懇親会			
17:00 - 19:00	懇親会		ホテルグランヴィア京都

- ・大会事務局 1F 157号室
- ・開票所 1F Room H
- ・インフォメーションセンター 1F 玄関通路奥右特設デスク
- ・ご来賓控室 1F 158・159号室
- ・医務室 B1 会館常設医務室 (Room E 隣)
- ・代議員昼食会場 1F さくら

※代議員の方は、代議員総会終了後、式典開始時間(13:00)までに昼食をお済ませ下さい。



# \*2010年度冬期 YCE 来日レポート\*

ベンジャミン・ガイ・ニュージーランド

(ニュージーランド)

Benjamin Guy Newland

第一ホストファミリー

京都ミレニアムLC：仲島様

第二ホストファミリー

京都パレスLC：仁科様

京都は美しい街だ。そして寒いところだった。最初のホストファミリーと金閣寺に行った。とても美しかった。次のホストファミリーとはUSJに行った。とても楽しかった。正月に清水寺へ行った時、雪が積もって坂で滑る人がいたが、私は大丈夫だった。雪の積もった寺がとても綺麗に見えた。ホストファミリーに京都には千以上の寺があると聞き、とても驚いた。正月にはお年玉をもらったが、とてもいい習慣だと思った。また日本に来たいと思ったが、とても物価が高いと思った。



ヨン・ウエン・ファン

(マレーシア)

Yong Wen Feng

第一ホストファミリー

京都パレスLC：榎本様

第二ホストファミリー

京都パレスLC：仁科様

パレスライオンズクラブの皆様、大変お世話になりました。今回日本を訪ねることが出来て本当に良かった。ホストファミリーが今年寒い冬だからちょっと残念と言っていたが、私は寒い冬がとても好きです。京都の街はとても美しい。そしてどこにでも寺があり、古い都だということがわかりました。USJがとても楽しく、良かったです。そして正月には日本の文化の食べ物、礼儀等を教えられた。お年玉をもらったが、マレーシアでは10分の1でももらったらたくさんだが、やっぱり日本は金持ちの国だと思った。また日本に行きたいと思えます。



タン・イン・フウイ(サマー)

(マレーシア)

Tan Ying Hui

ホストファミリー

京都薫風LC：河村様

12月19日に私は日本に到着しました。関西国際空港に着いたときの様子を覚えています。たくさん書類を手にした男性がこちらに向かって歩いて来られ「あなたの書類がサマー？」と尋ねました。書類を見せて私の名前を指差すので、私は「そうです。」と答えました。次に彼はXin WeiとKristalとWen Fengも知っているかと尋ねました。他の3人も見つかり、男性は私達をバンの方へ案内し、京都まで80分ほどかかることを告げました。車中で私ははじめての地、日本について興味深々で、又ホストファミリーにお会いするのとても楽しみにしていました。8日めにガバナー主催の歓迎会に出席したときには、周りの方々が私が風邪気味であることに気付いてかわるがわる大丈夫かどうか聞きに來られました。ホームシックにかかっていたことも察して下さっていて、たくさんの方を組んで忙しさが気が紛れるようにして下さいました。そのような気遣いや理解はとても嬉しいことでしたし、日本人の美德であると思います。日本の食事はマレーシアとは違うけれど美味しかったです。けれども量は私には少し多いと感じました。ホストマザーの河村さんは本当に良い方で、お互いが意志の疎通をはかるためにあらゆる努力をしてくださりました。私の滞在中は私と過ごすために殆どの時間を費やして下さいました。また私が体調を崩した際には本当に親身になって世話をしてくださいました。日本の皆様はとも友好的だと思えますし出来るだけ早くの再訪を楽しみにしています。

最後に一度、忘れられない思い出深い日本での時間を与えてくださった皆様に感謝申し上げます。



## \*2010年度冬期 YCE 来日レポート\*

2010年冬期YCE来日学生レポート

クリスタル・タン・スー・ミン (マレーシア)

Kristal Tan Sze Min

第一ホストファミリー 京都東LC：中西様

第二ホストファミリー 京都ミレニアムLC：片桐様

2010年

12月30日 (木曜) 午後1時ホストファミリーのL中西が我が家まで

送迎頂く。夜、我家で歓迎鍋パーティー。

12月31日 (金曜) 朝からの雪で、雪の嵐山へ。雪を見るのは初めての

経験らしく私の娘達と大はしゃぎ。夜、知り合いの

日本庭園が綺麗な店で食事。後、家で年越し。

2011年

1月1日 (土曜) 朝、御節で新年を祝い松尾大社・梅ノ宮大社へ初詣。

後、長女と四条へ買い物。夜、娘達とTVゲームで

大はしゃぎ。

1月2日 (日曜) 着物を着せてあげ平安神宮・知恩院さんへ。着せた

着物をプレゼントする。夜、長女のバイト先の寿司

屋へ。

1月3日 (月曜) 近くの梅小路公園を散策。夕食のすき焼きは特に気

に入った様子。

1月4日 (火曜) 私抜きで母親・娘達と京都タワーへ。後、家で寛ぐ。

1月5日 (水曜) YCEキャンプ

1月6日 (木曜) 夕方、池坊短期大学までクリスタルをお迎え。キャ

ンプで疲れている様子で早めに就寝。

1月7日 (金曜) 同じクラブのL藤原の息子さん達が海遊館へ連れて

行ってくれる。夜、L藤原達とさよならパーティー。

1月8日 (土曜) 関西国際空港へ送って行く。

非常にやりやすい来日学生でした。

マナーはもちろん、食べ物に関してでも好き嫌いは無く非常に良い学

生でした。

娘達(大学生・中学生・小学生)3人

にも良い経験をしてもらえたと思っています。

ります。この様な機会を頂き感謝致してお

ります。



「雪を見ました」

リー・シン・ウェイ (マレーシア)

Lee Xin Wei

ホストファミリー 福知山LC：尾松様

まず最初に青少年交流を計画して下さったライオンズクラブに感謝いたします。それは、多くの経験と、また多くの外国の新しい友達を得ました。そして、いつも私をあちこちに車で連れて行ってくれた福知山ライオンズクラブのメンバーに感謝します。また、クリスマスにはパーティーを楽しみました。それは本当に楽しかったです！

そして、福知山市役所の市長に会う機会があり非常に幸運だと感じました。そこで、FMラジオと地元の新聞社からインタビューを受けさらに驚きました。もちろん、ホームステイの間、私の世話のためにすべての時間を費やしてくれたホストの両親、尾松秋夫さんと尾松すみえさんに感謝しています。彼らは大変素晴らしい親しみやすいです。彼らの料理は大変美味しいです、特にうどん、ラーメン、焼きそば、そして黒そば。そして、牛丼や回転寿司などの日本食を味見するために多くの有名なレストランに私を連れて行ってくださいました。私は滞在している間彼らとの素晴らしい時間を過ごしています。私は福知山高校と淑徳高校にも訪問しました。学校組織は私がいた学校と全く異なります。次に、私は高木さんのお陰で日本の伝統的な衣服である着物を着る機会がありました。私は着物が大好きです！また、福知山城へも行きました。そのスタッフは私にお城の歴史さえも説明してくれました。堀越でもちつきをする機会がありました。さらに、ホストの両親は有名な天橋立に連れて行ってくださいました。その風景は素晴らしいです。

ホストの両親と私は、彼らの友人の家にも訪問しました。彼らは皆、私を温かく歓迎してくれて大変親しみやすいです。また、大晦日にはイベントに参加して楽しみました。それは、マレーシアのイベントとは全く異なります。さらに、私達をユニバーサルジャパンに連れて行ってくれたKristalとWen Feng最初のホストファミリー中西家族と牧本さんに感謝したいです。そこでは楽しい時間を過ごしました。

最後に、青少年交流プログラムで日本に来ることが出来て大変嬉しいです。ホームステイの間、私は多くの日本の文化を学び、興味を持ちました。また日本に来たいです！



# \*2010年度冬期 YCE 派遣レポート\*



キャンプで民族衣装を着て撮った写真



1月1日、日本人が集まり日本食を食べた時に、マレーシアのライオンズクラブ会長と撮った写真



この派遣で学んだことは沢山あります。習慣、ノリ、現地の性格、意思疎通が不便な中でハングリー精神や笑顔の重要さ。どの経験も私を構成する大事な要素になっています。

や自分たちの生活の話をしてくれるうちにもっと理解したいという思いが強くなりました。気付けば自ら質問をしたり、少し日本についても話すようになっていました。もちろん、一瞬で英語ができるようになってしまったわけではありません。辞書や中華系の家族とやることで漢字を用いて何とかコミュニケーションを図っていた状態です。しかし私の伝えたいという思いをくみ、相手も必死に理解し英語を教えてくださいたり直してくれたりしました。マレーシアの人との会話の中には私の視野を広げるようなものもあり、もっとたくさん話を聞きたいと感じています。これらのことを踏まえて、やはり異文化交流は重要なものだと感じました。その地域ならではの話を聞くことは、自分の常識を破ることや見解を一気に広げることもあると感じたからです。私はそのことに気付いて、今回の派遣は素晴らしいものだったと感じています。これからこの気付きを大事に様々なことに取り組みたいと思います。



冬至の日の昼ご飯

このマレーシア派遣を通して一番学んだことは、コミュニケーション力だと感じます。私は日本人に對しても人見知りがちなうえに、英語力も十分なものではありません。一方でマレーシアの人はとても大らかで優しく、積極的に私と接してくれようとしてきました。初めは何を言われても簡単な単語で端的に伝えていましたが、彼らがマレーシアならではの話を

マレーシア派遣を通して

派遣先：マレーシア  
京都パレスLC 大江 紗里依



ペルーでのホームステイ

私の派遣先はペルーでした。ホームステイ先のTACNAはチリに近い南部にあるので、最初の2日間はリマで同じ派遣生の平澤さんのホームステイ先にお世話になりました。案内してもらったリマは12月ということもありクリスマスの雰囲気を感じられ、大きなツリーがどこの広場では見ることが出来ました。観光用の街の中心を一周するバスに乗ったり、政府の建物や教会に大学のプレゼンテーションを見学させてもらいました。

2日過ぎ、TACNAのホームステイ先に向かいました。現地に到着すると家族からの熱烈な歓迎を受けました。大きなポスターまで作ってもらい、子供達からも歓迎を受けました。



TACNAではクリスマスとお正月をどの様に過ごすのか、日本以外での年末年始は初めてでしたが、どちらも楽しく過ごすことが出来ました。

どちらも同じような祝い方で、爆竹や花火を打ち上げ、皆で踊ったり食べたり飲んだりしながら日付が変わった瞬間に祝いの言葉を言い合いました。ただ、宗教がキリスト教の影響でクリスマスや重要視しているを感じました。

普段の食事は朝・夜を軽め、真ん中の昼でしっかり食べる、という習慣でした。長崎のトルコライスのように米、肉(メイン)、サラダ。

派遣先：ペルー  
京都パレスLC 谷口 未花



# \*2010年度冬期 YCE 派遣レポート\*

初めての海外

派遣先：クロアチア

私は、平成二十二年十二月二十日から平成二十三年一月十二日までクロアチアに行かせて頂きました。今回の留学は私にとって初めての海外で、楽しみだった反面、少し不安な部分もありました。しかし行ってみると、不安さは全くなくなり、三週間があっという間に過ぎていきました。

雪のせいでクロアチアに着いたのは夜中の十二時でした。しかし空港には、私のホストファミリーが笑顔で迎えに来てくれていました。

初め、私はクロアチアの首都、ザグレブに滞在しました。ザグレブには世界遺産がいくつもあり、観光をしに連れて行ってくれました。また、クリスマスにはツリーに飾り付けをし、プレゼントを貰いました。

私がクロアチアに行って驚いたことは、昼食が遅いことです。毎日14時から16時の間に食べていました。初めは慣れませんでした、すぐに習慣づきました。

二軒目の家は海沿いの町でした。とても空気が景色がきれいでした。この町はポレツチという名前で、イタリアへ車で一時間ぐらいで行くことができ、連れて行てくれました。今回の留学で、外国の生活習慣を学ぶこと以外に、コミュニケーションの大切さを学ぶ、とても良かったと思います。ありがとうございました。



2011  
3

派遣先：マレーシア

長浜LC 廣部 さくら



私は、新しい発見と新しい出会いへの期待を持ちマレーシアに行きました。私のホストファミリーはとても仲の良い4人家族でした。パパはセキユリティー関係の仕事をしており、たまに連れて行ってくれました。その他にもホストファミリーは私にいろんな体験をさせてくれました。クリスマスには、ライオンズクラブのメンバーの方とパーティーを行ったり、お正月には、ホストブラザーの友達とバーベキューをしたりしました。その他にもホストシスターとホストブラザーと年が近いのもあり、友達を紹介してくれて毎日遊んだりショッピングに連れて行ってくれたりしました。マレーシアの観光地で有名なマラッカにも連れて行ってくれました。事前にマラッカのことを調べていたもので、私が見たいもの、食べたいものを言うところとそこに連れて行ってくれました。

食卓の会話の中には必ず日本のこともできてきました。普段私たちが当たり前に行っていることを聞かれると、日本のことなのに分からないことがたくさんありました。マレーシアの歴史や文化を学ぶとともに、日本について考える機会がたくさんあったように思います。毎日楽しい思い出があります。

この派遣を通してさらに日本を知り、世界をより広く見たいと思う気持ちがより一層深まりました。このような素晴らしい体験を与えてくださったライオンズクラブの皆様、ホストファミリーに感謝しています。ありがとうございました。



この派遣を通してさらに日本を知り、世界をより広く見たいと思う気持ちがより一層深まりました。このような素晴らしい体験を与えてくださったライオンズクラブの皆様、ホストファミリーに感謝しています。ありがとうございました。



この派遣を通してさらに日本を知り、世界をより広く見たいと思う気持ちがより一層深まりました。このような素晴らしい体験を与えてくださったライオンズクラブの皆様、ホストファミリーに感謝しています。ありがとうございました。

冬期YCE派遣レポート

派遣先：マレーシア

長浜LC 藤本 真大



今回私は、冬期YCE派遣としてマレーシアに行き参りました。マレーシアは私の想像以上に経済が発展しており、日本の東京のように見えましたが、しかし、首都クアラルンプルを外れると一変し、海や森林、動物に囲まれた自然豊かな環境になります。

私のお世話になったホストファミリーは皆さん気さくで心の温かい人たちでした。お陰で、日本から遠く離れた地でも、寂しさを感じることなくホームシックも感じさせないよう毎日いろいろなところに連れて行ってくれました。マレーシアで有名なツインタワーや寺院などの観光地や史跡は楽しく見応えがあり、今でも鮮明に覚えています。また、毎日の食事は、いつも家族全員で食卓を囲み、笑顔で楽しく会話をしていました。私も好きな英語を存分に話せ、このときは一番心地よく感じました。一方で、マレーシアの「家族愛」に翻弄されたときもありました。日本では数少ない光景でしょう。



マレーシアと日本の文化の違いは、「食事」や「家屋の構造」など沢山あります。しかし、互いに尊重し理解しようという気持さえあれば、どこの国に行っても異文化コミュニケーションはできるのだと実感しました。この体験を機に将来は海外留学も目指し、いろんな勉強もしながら沢山の人とコミュニケーションを図っていきたくと思います。また、今回の体験は私にとって一生の宝です。辛いことや苦しいことがあったときには思い出して、困難を乗り越えていけると思っています。

貴重な体験をさせて頂いたライオンズクラブの方々やホストファミリーに感謝致します。本当にありがとうございました。



# \*レオクラブの現状を考える会\*

平成22年12月6日(月) 14時より、リーガロイヤルホテル京都2階桔梗の間において「レオクラブの現状を考える会」が開催された。



会議には、地区ガバナー奥村啓二を始め、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー、他、多くの地区役員の皆様と各レオクラブのスポンサーライオンズクラブの会長、幹事、関係委員長の出席があり、総勢37名の参加となった。

開会にあたり、大石博之レオ・青少年指導委員長より「今期3ヶ月間のレオクラブの活動をガバナーに報告したところ、このままではレオクラブは今後どうなるかと危惧され、レオクラブの運営について真剣に取り組んでいただきたいと要望があった。スポンサークラブの皆様と一緒に様々な問題を洗い出し、真剣に取り組んでいかないと明日のレオクラブは消滅してしまふ。皆様からの積極的な意見を頂戴したい」と挨拶があった。

続いて奥村地区ガバナーより「レオクラブの現状を見るにあたり、レオクラブの活性化に是非取り組んでいただきたい。貴重な財源を割いて運営しているので、色々な意見を出していただき、スポンサークラブの指導力を発揮して、レオクラブの健全運営に力をいれていただきたい」と挨拶があった。

次に大石委員長よりレオクラブの現状について説明があった。まず、組織上レオクラブの在籍者数の把握すら出来ていない。また、キャビ



ネット、複合地区、マンスリーのそれぞれの数字が一致していないなどの現状の問題点を指摘。また、一般レオクラブに共通していることは、メンバー数が少なく、また例会出席者も固定化され、その数も極めて少ない。会員増強しても、その後の出席がないなどの問題点を指摘した。その中で京都西レオクラブについてはすべての例会において出席者が多く、京都西ライオンズクラブより「レオクラブメンバーが意識をもって取り組んでいるし、親クラブと常につきながりをもってやっている」と報告があった。また、全てのライオンズクラブにおいてレオの会員増強には強力に取り組んでいるものの、なかなか実行にはいたっていない旨の報告がされた。



一方、京都両洋高等学校国際レオクラブについては、顧問の先生を中心に積極的に取り組んでいただいております。今後は卒業生OB会を開催して、ボランティア活動を継続したい学生を中心に勧誘し、会員増強に繋げていく必要があるという意見が出された。

また、京都学生レオクラブについては、足達第一副地区ガバナーよりその誕生の経緯が説明され、現状について「現在5大学に渡ってメンバーがいるため、全員揃っての例会は不可能である。執行部で例会をし、下部に伝達する形で活動している。主な活動は献血活動である」と説明があった。今後は、各学校単位で支部組織をつくり、支部単位での活動にする方が望ましいのではないか、について研究していただくよう要望があった。続いて大石委員長から「レオ衰退の一番の原因は、委員会と



して適切な指導が出来ていないことが一つにはあるが、そのためには提出すべき書類等が期限を過ぎて出てこない現状がある。スポンサーライオンズクラブより適切な指導をしていただきたい。もう一度原点に立ち返りレオクラブの現状を把握するためにも、是非再度レオクラブ役員および会員報告書とレオクラブ会員名簿の提出をお願いしたい」と要望が出された。

また、会場からは「レオクラブの現状は、まづスポンサークラブの適切な指導ができていない。レオのメンバーの意識が変わってきている。そして、活動援助金をどうするかが問題である。今後も継続した話し合いをして、レオクラブが必要かどうかも含めて、全員で考えていく必要がある」という意見も出された。

最後に花田好壽レオ・青少年指導副委員長より「私自身、レオクラブのことをあまり把握していなかったが、委員会に入りようやくわかってきた。スポンサークラブの皆様には常にご苦勞していただいているが、レオクラブの発展のために引き続き、ご尽力を賜りたい」との挨拶をもって閉会した。

地区レオ・青少年指導副委員長 吉田 和之





# \*2010年度冬期 YCE 派遣学生歓送会\*

◆日時 2010年12月13日(月)19:00~21:00 ◆場所 リーガロイヤルホテル京都2F「サロンド シャルム」

2010年12月13日19時よりリーガロイヤルホテル京都で、「2010年度冬期YCE派遣学生歓送会」が開催されました。

奥村地区ガバナー、足達第1副ガバナー、植田地区キャビネット幹事、松山地区キャビネット会計、地区YCE委員会をはじめ、保護者の方やスポンサークラブの皆様にも多数ご参加いただき、派遣前の楽しい時間を過ごすことができたことと思います。今回の派遣生は男子1名、女子4名の計5名。派遣先は、マレーシア、ペルー、クロアチアの3国であります。派遣生全員が無事にそして、更に、成長して帰国することを確信し、会を終了いたしました。

地区YCE副委員長 池田 修史



# \*2010年度冬期 YCE 来日学生歓迎会\*

◆日時 2010年12月26日(日) ◆場所 リーガロイヤルホテル京都

12月26日午前11時より、ニュージールランドとマレーシアから男子2名・女子3名の合計5名の来日学生を迎えて、2010年度冬期YCE来日学生の歓迎会が開催されました。

地区キャビネット役員をはじめ、ホストファミリーならびにホストクラブの皆様にも多数ご参加を頂き、ゲストに日本舞踊春乃流家元 春乃櫻香様を招き、楽しく和やかに時を過ごすことができました。

始めに奥村地区ガバナーより、日本の文化を楽しんで頂き、健康に注意し、病气や怪我なく、自国に帰国されますようにとの歓迎のご挨拶を頂き、続く川勝地区YCE委員長は、ホストファミリーならびにホス



トクラブに感謝の意を、来日学生には歓迎の言葉を述べられました。

来日学生へのプレゼント贈呈後、春乃櫻香様より日本舞踊をご披露頂き、来日学生は目前で日本文化に触れられ、大変感激していました。

楽しい会食後には、来日学生の日本語でのスピーチが行われ、来日学生全員がライオンズクラブならびにホストファミリーに対して感謝の言葉を述べていました。

最後は、南第2副地区ガバナーの閉会のご挨拶で歓迎会を閉会いたしました。

地区YCE副委員長 松廣 正哉



## \* 会員増強セミナー開催 (5R) \*



1月18日福知山市において、5Rを対象とした「会員増強セミナー」が、地区ガバナー・奥村啓二、地区キャビネット担当役員、5R会長役員出席のもと開催されました。

平成22年度地区の最大の活動目標である「会員増強」をテーマに絞り、関係委員長から指導等のレクチャーの後、全クラブ出席者から現状等が報告され活発な議論が行われました。

この議論質疑応答を踏まえ、各ゾーン・チェアパーソンより担当ゾーンの入会会員目標が自主的に表明され、この目標を全クラブ達成することを確認いたしました。

当日までの大雪の残雪が残る中、融雪に至るような熱きセミナーとなりました。

ご出席の皆様ありがとうございました。

地区会員・リテンション・エクステンション副委員長

山本 隆志

## \* 8R9R会員増強セミナー報告 \*



1月19日(水) 14:00よりフジタホテル奈良にて奥村啓二地区ガバナー、八嶋隆名誉顧問・元協議会議長、小鍛冶隆一最高顧問・元地区ガバナー、会員増強担当の各委員長をはじめ、8R9R内ゾーンチェアパーソン、地区役員、各クラブ会長、総勢36名参加のもと会員増強セミナーが開催されました。

会議ではまずはじめに、奥村ガバナーより7月~12月までの会員動静の現状について述べられ、その中で5R8R9Rが増加どころか減少している状況であり今後は危機感を持ってより一層の会員増強に取り組んでいただきたいと要望されました。

その後、八嶋元協議会議長より派閥を作らずクラブが一つになっただけで会員維持や増強ができる。小鍛冶最高顧問からは今まで問題点の改善を図ってきたがクラブでは難しいので奈良県内の各クラブ同志が協力し合って一丸となって頑張ってくださいとお話しされました。

次に鶴田指導力育成委員長より各クラブに会員増強委員会の設置の要望と事務局、アシスタント、食事代などの改善をご提案いただき、秋山長期計画・リサーチ委員長には職業別に集中的勧誘を行ってはと、持田会員・リテンション・エクステンション委員長には退会者の防止にリテンションワークショップの活用など大変素晴らしいアドバイスをいただきました。

その後、各クラブ会長とZCより当初の目標、現況報告、今後の見通しの発表が行われ、JCへの働きかけ、女性会員やライオネスクラブへのアプローチ、年会費やアシスタントの見直し、二世の掘り起こし、勧誘履歴の作成、ロータリークラブ会員の御子息へのアプローチなどの取り組みが紹介されました。

最後に、植田地区幹事より各クラブの目標をトータルすると50名の増員となります、是非実現していただきますようお願いいたします。

現在の経済状況の中で会員増強が難しいことは確かですが、このセミナーでは今まで自クラブではトライしていないことと考になることも多くあったと思います。是非あきらめず前向きに取り組んでいただき大きな成果が得られますことを心よりお願いいたします。

地区会員・リテンション・エクステンション副委員長

岡堅 英幸(奈良LC)



# \*アイバンク講座\*

## 〈第2回 角膜移植の歴史〉

角膜移植の歴史は古く、1789年フランスでガラス片の移植を試みたとの報告があります（日本アイバンク協会「アイバンクジャーナル」より）。

その後、動物の組織を移植する研究が行なわれましたが、いずれも不成功に終わりました。

1905年現チェコ共和国で、人の角膜よっての移植手術に初めて成功しました（ライオンズアイバンクより）。

角膜移植は今では確立された医療として、成功率は90%以上となっています。

しかし人工角膜や再生医療による研究は未だ道なかばの状況で、献眼が無ければ移植が出来ないのが現状です。

又、アイバンクは、1944年アメリカ合衆国ニューヨークに、ライオンズクラブの援助を受けて世界で初めて設立されました。

一方我が国では、昭和32年岩手医大の今泉教授の手によって献眼由来の移植が初めて行なわれましたが、この移植は「角膜移植法」成立前の事で、刑法に触れるのではないかと社会問題となりました。しかし検察本庁の判断は、「例え法的に問題ありとしても、人道的な医療行為で、犯罪の成立は認められない」と言うものでした。

この事件を受け翌昭和33年に角膜移植に関する法律が制定され、その5年後に日本最初のアイバンクが設立されました。

今では全国で54のアイバンクが活動しています。

我々管理会は335-C地区内4アイバンクの支援に大きな実績をあげています。

### 資金提供クラブ及びメンバーご芳名 2010年12月1日～2011年1月31日（敬称略）

(クラブ)		(個人)	
京都華頂	45,686	宇田 洋三(大津)	¥10,000
京都洛中	37,380	飯田喜代繁(大和郡山)	¥10,000
八日市	32,056	計	¥20,000
京都岡崎白川	20,766		
京都洛南	20,000		
京都京洛	19,917		
京都セントラル	16,613		
京都ロイヤル	7,394		
計	¥199,812		

(団体)	
移植・再生医療を支える会・わかさ生活 一縁のeye基金	¥300,000

※訂正 2R1Z・2Z・3Z合同 129,781円

1月号9頁の記事中「2R3Z合同」となって居りました。

お詫び申し上げますと共に、上記の通り訂正し改めてご報告致します。



# クラブ便り

## 能登川LC

### 環境美化デー

【実施年月日】 平成22年11月14日(日) 8:30~11:30

【実施場所】 東近江市猪子町猪子山公園一帯

【実施内容】

当クラブでは本年度環境事業として、猪子山公園の植樹の点検(過去に桜の木を植樹)又、園内の樹木の枯枝の伐採等清掃を計画中のところ、本年8月に地区環境委員長から標記事業の要請があり、市民を巻き込んだ奉仕活動の主旨に鑑み、公園内の通路並びに公園の山頂に通ずる遊歩道(標高約270メートル頂上近くには440の石段あり)に散在するゴミと『ナラ枯』による枯枝が落下し、通行傷害となっているので、これらの除去をメンバーと一般通行者並びに近くの高校生(クラブ活動の体力増強の一環として遊歩道を利用している)に協力を依頼し三者一帯となって作業を実施した。

結果、軽トラック一台分の枯枝やゴミの収集ができ、ゴミは分別の上焼却場へ運搬した。

なお、一般協力者と高校生約100人に感謝のお礼として粗品を贈った。



## 京都洛北LC

### CN45周年記念アクティビティ

#### 大原地域ハイキングコース「遭難救助用標識」設置支援事業

京都市左京区大原地域では、中高年のハイカーが増える一方で遭難事故も毎年発生しており、地元住民の皆さんは遭難救助について長年悩んでおられました。

京都洛北ライオンズクラブの活動エリアであるため、大原消防分団、大原自治連合会の連名で当クラブに「遭難救助用標識」設置支援の要請がありました。クラブで検討した結果、地域性といい、また必要性、実効性といい極めて有効なアクティビティと考えて、当クラブのCN45周年記念事業として実施する運びになりました。

標識は高さ約1.5メートルの金属製で、山道で迷ったり、怪我をしたりして救助を求める時、標識の番号と色(黄・青・赤・緑)を携帯電話で連絡すれば、消防署が位置を把握できるようになっています。

大原消防分団のご奉仕で、平成22年11月14日・28日の日曜日にハイキングコース50カ所に標識を設置していただきましたが、地元の皆さん方のその志の高さに我々も感服いたしました。遭難事故が起きた場合には遭難者と救助サイドがこの標識を活用して、スムーズに救助活動が実施されることを願います。

広報委員長 し須野原 修二



## その他の活動

10月18日(月) 授産所の利用者とホテルでフランス料理と弦楽三重奏を愉しむひととき



# クラブ便り

## 宇治LC

### 聴覚障害者社会参加支援事業

11月19日、宇治市内の宇治市ろうあ協会、宇治市難聴者協会、宇治市難聴者協会後援会、手話サークル「太陽」、要約筆記サークル「えこー」「やまびこ」「ところ」にお世話になっている、ろうあ者、難聴者とその家族、そしてお世話をしているボランティアの人たち80名(当日欠席者6名) ライオンズメンバー5名でバス2台にて、聴覚障害者社会参加支援事業「みんなで楽しく美術鑑賞」を実施。

小春日和の好天に恵まれた日に高速道路で六甲山、明石大橋、淡路島の紅葉の景色を眺めながら渦潮、鳴門大橋の見えるレストランで食事を取り四国鳴門の大塚国際美術館に到着、みんなで写真を写し、入館。地下に造られた地下4階建て美術館でヨーロッパ旅行に行かなければ見られないヨーロッパの教会や宮殿の壁画・天井画がいくつも原寸で作られている。その他世界の有名画家の作品が何百と陶板で作られ、世界中の絵画が展示されている。参加者は規模の大きさ美しさに大変感動されていた。障害者の家族からは家族旅行ではなかなか来られない少し遠方のこのような旅行に喜ばれた。障害者、家族はボランティアの人たちに助けられ一緒に一日楽しく旅行できたことに感謝されていた。また、ボランティアの方からも

「あったサークル同士が一緒にになり事故もなく楽しく過ごせことに感謝してくださいました。機器や器具の寄贈も大切であるが、このような喜び感謝される心の豊かさの支援も大切であると痛感した。」



## 京都洛中LC

### ゼスト御池にて

### 第28回アイヘルス・糖尿病予防キャンペーン 開催

当クラブが長年にわたり取り組んでおりますアイヘルス・糖尿病予防キャンペーンも28回を数え、10月30日にゼスト御池に於いて盛大に開催されました。

午前10時、京都市をはじめ京都府糖尿病協会、京都府眼科医会、(公財)京都新聞社会福祉事業団、ライオンズクラブより地区ガバナー、地区役員多数のご出席を頂き開会式が行われ、それぞれにご挨拶を頂いたあとテーブルカットが行われて会場がオープンされました。

会場内には医師による健康相談をはじめ看護師さんによる血糖検査や血圧検査、栄養士さんによる食事相談、又糖尿病と合併症のビデオ放映や壁面には糖尿病の症状と原因、治療と予防のパネルが掛けられ、テーブルには糖尿病患者用の食事が展示されました。会場外では各メンバーが手分けして「アイヘルス・糖尿病予防キャンペーン」の品を通行中の人に配布PRして夕方5時までの間に約200人余りの人たちが来場されて大変な盛況でありました。

このキャンペーンによってアイヘルス・糖尿病予防をPRすることが出来、糖尿病の患者さんが減っていくことをメンバー一同心から願っております。





# クラブ便り

## 長浜「C」

### 「笑っていきいき落語&トークショー」開催



長浜ライオンズクラブ（会長 神門 隆）では、高齢化社会が益々進む中で、養護老人ホームに入居されている方々に楽しさをお届けして、元気に長生きをしておらうという趣旨のもと毎年慰問活動を行っています。本年は、12月4日（土）長浜市川道町にある特別養護老人ホーム「青芳（せいほう）」において、「笑っていきいき落語&トークショー」と題して慰問を行い、併せてこれからの季節を温かく過ごしてもらおうと、入居者一人一人に「ひざ掛け」をプレゼントしました。

初めに、種村弘文施設長から「名前に福が二つもついた落語家さんにきて頂き、皆さんも福を十分いただいて下さい」と挨拶が行われ、神門会長から入居者代表の方にひざ掛けをプレゼントしました。その後、落語か笑福亭仁福氏による落語「手水回し（ちようずまわし）」を披露して頂き、会場とのトーク等、皆さんとのふれあいを楽しんでもらいました。「笑いは健康に良い」ことは科学的にも立証されており、皆さんに、本格的な落語を味わってもらい楽しい一時を過ごして喜んで頂く事が出来たことは良かったと思います。

最後に入居者の方から御礼の歌「ふるさと」を披露して頂き、和やかな内に終わることが出来ました。



その他の活動  
12月11日（土）・12日（日）  
第三回長浜LIONS CUP U16交流大会 開催

## 京都洛西「C」

### 第18回京都洛西ライオンズ旗杯争奪少年サッカー大会



2010年12月23日（祝）洛西浄化センターグラウンドで9チームが勝ち負け戦16試合を行った。選手・父兄・兄弟・役員600名が風の吹きすさぶグラウンドに集結。

開会式に続き第1回戦が始まる。試合が始まれば寒さなんぞ忘れて選手はもちろんのこと父兄・監督・コーチは『やれ！行け！それ行け！GO！GO！GO！』と熱い声援。

暑い暑い戦いの上、勝ち上がったみやこ対西山で決勝戦みやこが運動量に勝利をつかむ。3時30分からの閉会式で会長から優勝旗・楯・賞状を受け取る子供たちの笑顔に現況の荒れ荒れ児童虐待やいじめ問題等はよその国のように感じる一時でした。

この子たちが、いつまでもスポーツマンとして明るい笑顔ですがすがしい心を持ち続けてくれることを祈って本年度の大会を閉じました。



# クラブ便り

## 京都日吉ヶ丘LC

### 車いすハンドボール大会

2010年11月28日(日) 京都障害者スポーツセンターにおいて、第21回全京都車いすハンドボール大会兼全国交流大会がおこなわれました。

当クラブから支援金(30万円)を贈呈し、京都障害者スポーツ振興会川面幸男会長から感謝状を拝受しました。

今年は合計13チームが出場しました。チームはゴールキーパーを含め6人構成で、選手たちは車いすを器用に乗りこなすシミュートを決めます。当クラブメンバーも選手として出場し、心地良い汗を流すことが出来ました。



#### その他の活動

12月22日(水)

2010年クリスマス家族例会

1月31日(月)

京都第一赤十字病院へ車いす贈呈

## 近江守山LC

### 1142回通常例会「ライオン誌をクラブ例会に！」



表題は、2010年9月号に、大島康男元ガバナナーがTHE LION委員長の時「読者モニター」を誕生させ、ライオン誌を例会に活用し、ひいてはライオン誌日本語版の質の向上、より多くのメンバーの精読を狙ったキャンペーンである。

時の砂田繁雄委員が同号誌末尾に、この種の取り組みは、日本で初めての試みとのコメントをのせておられたので、早速2011年の初めに取り上げさせていただいた。

折しも2012年は、マヤ暦が終わる事から、何か良からぬ事が起こるのではとの推測が流れている。

平成も末世の風情があり、世は混沌として希望がない。

失業、就職難で若者も右往左往するばかりである。世の大人や教育界で、閉塞感がただよっているので、いよいよライオンズの出番と、青少年の健全育成の一環として「ライオンズクエスト」を始めた。知識だけの勉強からは得られない、人生のスキル、すなわち道徳、倫理、哲学を修学させ、人生に欠如した智恵をあたえ、"人生とは"を知らしめる教育プログラムである。

日本人の死生観、いかに生き、いかに死ぬか。武士道に云う「底く暮らし、高く思う」生き様、

知足満足から無欲満足への道程。質素、正直、善良、正義、強きをくじき弱きを助ける判官びいきの国民性こそ、ライオンズムの原点なのだと思つ。ヘレンケラー女史の「盲人の騎士たれ」に始まり「変化への挑戦」「ムーフトゥグロウ」「希望の光」と国際会長の言葉は続く。

マハレマ・ガンジーは「自分を知る最善の方法は他者への奉仕に没頭することである」「人生は一度しかない、人の為になることは今すぐやろう、この道は二度と通らない道だから」とも述べている。

アインシュタインは「成功という理想を奉仕という気高い理想に置き換えるべき時がきている」アルベルト・シュバイツァーは「本当に幸福になれる者は、人に奉仕する道を探し求め、ついにそれを見いだした者である」と。

私達は、当クラブの創設以来、伝教大師最澄の「一隅を照らす」に明るい希望を永らく抱いてきた。誇りをもち、名譽、自尊心を高揚させよう。生活は貧しくとも奉仕への心は、11万近い日本のライオンズに脈々と流れている。

私は、道徳綱領を読む度に、日本人としてライオンとして「ノービス オン」そして「リーダー オン」を強く意識するのである。

会員委員会 南井 繁樹



#### その他の活動

1143回名言集例会

12月23日(木)

クリスマス望年家族例会



# クラブ便り

京都むらさき「C」

## 冬期YCE生と伝統文化体験の一日



1月6日(木)池坊文化会館に於いて「YCE生と伝統文化体験の一日」を、地区ガバナー奥村啓二、地区YCE役員の皆様をお迎えして開催いたしました。

9時からの1限目はいけばな体験。池坊文化学院、土屋郁剛講師によるいけばなの歴史・基本型などの講義と模範実枝の後、YCE生とOB生が自由花に初挑戦しま

した。初めのうちはただ花木とニラメッコ。苦戦の様子でしたが、講師のアドバイスで徐々に能力が目覚めたか、個性的で若々しい作品を完成させました。意外なことに、女子の作品が伸びやかでダイナミックだったのに対し、男子のそれは繊細かつ可憐な作品と二極化された印象を受けました。「花には活ける人の性格が表れる」とのことでしたが、これも現代の世相を反映しているのでしょうか。作品は花器ごとYCE生にプレゼント。ホストファミリーへの素敵なお土産になったことでしょう。



2限目は当ライオンズクラブのL萩本房子による礼法体験。講師は巧みな英語でYCE生の反応を見ながら、フレキシブルな対応でYCE生の興味を引き出して…。お陰でYCE生はお辞儀の作法・お箸の作法・椅子席での作法など次々とクリア。最後は、難しい「叶結び」も早々に完成させ、何と紐の端まで使って連続模様を作ったりして楽しんでおりました。その上、悪戦苦闘の私どもクラブ会員の指導までして下さる余裕…。若い頭脳に完敗といった一幕でした。

昼休みは矢尾定に場所を移しての歓迎会。出席者の紹介、会長杉原美千代の開会挨拶に続き、2日間YCE生と行動を共にしておられるパワフルなガバナー奥村啓二より挨拶を頂戴しました。杉原会長とYCE生のバナー交換後、YCE委員長川勝文男によるお茶乾杯のご発声で楽しいランチタイムは始まりまし



た雰囲気の中で、YCE生の自己紹介もあり、日本を再訪したいとの言葉に、ホッとすると共に喜びも一入でした。一段と成長し、りっぱな国際人となった若者たちに、いつの日か京都で再会したいナー。YCE副委員長岡はつきによる閉会の挨拶で歓迎会はお開きとなりました。

3限目の茶道体験は表千家岩崎源講師による初釜、濃茶席の見学。静寂な中、心を尽くして点てられた薄茶の接待を受けた後、濃茶も希望されたYCE生、作法通り上手に一碗を回し飲みされました。おもてなしの心、茶の湯の精神がお気に召したのでしょうか。



4限目、池坊文化学院邦楽部の皆様による演奏会は、琴・尺八・コントラバスの和洋の楽器によるコラボレーション。「さくら」「春の海」など新春らしいテーマを熱演され、フィナーレを飾るにふさわしい盛り上がりYCE生も大よろこびでした。最後に記念撮影をして、全プログラムを滞りなく終える事ができました。

難解(?)な日本の伝統文化に果敢に挑戦したYCE生。その明るく輝いた笑顔に、今日一日を存分に満喫していただけたものと確信できました。そして私どももまた、心が通じ会えたよろこびと感動を得ることができました。

できることなら、周年アクティビティとして取り組んでいけたらと願っております。

最後になりましたが、ご支援・ご協力をいただきました池坊文化学院、講師の方々、そしてガバナー奥村啓二、YCE役員の皆様、YCE OB生の皆様に心から感謝申し上げます。

京都むらさきライオンズクラブ 幹事 若林 ナナミ







# クラブ便り

## 京都市城南LC

### 第13回KJ杯争奪中学生サッカー大会

去る2011年1月22日(土)・23日(日)に山城運動公園太陽が丘第2競技場及び球技場Aにおいて「第13回KJ杯争奪中学生サッカー大会」参加選手・来賓・京都市城南LCメンバー総勢約400名でを開催致しました。

今では、新春を飾る大会として、すっかり地域に定着した本大会も今年は、CN15周年の節目の年の大会として京都市内から4中学校を招待して盛大に開催されました。



お陰様で両日ともお天気に恵まれ、暖かい日差しの中で参加16チーム(14中学校+2ジュニアユースチーム)の熱戦が繰り広げられました。  
初日の開会式には一般来賓はじめ地区ガバナー他ライオンズクラブ関係者25名の多数の来賓のご臨席のもと、宇治市議会議長 松峯茂様、地区ガバナー 奥村啓二からも励ましのご祝辞を頂戴し、木津第二中学校サッカー部主将久保田翔太君の力強い選手宣誓のより開会致しました。



ボールを一心に追う輝いた選手たちの目、日ごろの練習の成果を發揮すべく必死に掛け巡る選手たちの姿からメンバー一同熱いものを感じました。地域の青少年健全育成の一環として取り組んだ本大会も実りある大会で、いつの日かこの選手の中からJリーグのメンバーとして活躍する選手が出てくれる事を期待して改めて、We Serve の意義を実感致しました。  
この大会にご協力頂きました宇治サッカー協会、宇治市中学校体育連盟他関係各位に心から厚く御礼申し上げます。尚、成績結果は下記の通りです。



#### 【成績結果】

- ・優勝：宇治FCジュニアユース
- ・準優勝：京都市立太秦中学校
- ・三位：京都市立神川中学校
- ・四位：京都市立嵯峨中学校

#### 《ベストイレブン》

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 大橋 和輝 (宇治F.C.) | 清水 篤郎 (太秦中学校) |
| 緒方 俊樹 (宇治F.C.) | 杉浦 健介 (太秦中学校) |
| 川本 賢司 (宇治F.C.) | 秋山 昇大 (太秦中学校) |
| 岡田 直之 (宇治F.C.) | 村上 樹 (嵯峨中学校)  |
| 水田 尚樹 (神川中学校)  | 橋本 知樹 (嵯峨中学校) |
| 山村 龍平 (神川中学校)  |               |

京都市城南ライオンズクラブ PR委員長 中村 英夫



# クラブ便り

京都洛央LC

## 京都府立桃山養護学校もちつき大会

わが京都洛央ライオンズクラブは結成以来、ずっと続けてきたアクティビティのひとつに「京都府立桃山養護学校小学部でのもちつき大会」がある。数えて今年で12年目ということになる。毎年、新春明けの10日過ぎにメンバー8人ほどが訪問して、低学年の子どもたちと一緒に餅つきを楽しんでいる。

前もって、岡山県産のもち米を30キロ用意し、当日に、片栗粉、きな粉、小豆餡、海苔等を持参して、先生と保護者のみなさんの協力を得ておこなっている。最初の頃は、もち米の蒸し方や道具の扱いにも不慣れだったが、年々、コツを覚えてスムーズに進行出来るようになった。何事も経験というのは凄い。

臼や杵を使って餅をつくというのは初めてという子どもや保護者も多く、毎年のように感激してもらえる。特に、こつきをして準備した餅を大人の手を借りながら杵を振り上げ、ぺったんこぺったんこと突く姿は、いつ見ても微笑ましい。その後、みんなで餅を丸めるのも、とても楽しそうだ。味は保証付きである。

子どもたちのキラキラした笑顔とたくさんの感動をもらってきたが、この大会も今年が最後になる。学校の閉校により、私達のアクトも残念ながら終わりを告げる。子どもたちの記憶の片隅に、楽しかったもちつき大会の一コマがぎざまれたなら、幸せである。

会長 小島 良道





# クラブ便り

## 草津LC

### 「地域FM放送を使ったPR活動」

平成22年設立の「えふえむ草津」に、月1回第一金曜日17時～18時「草津ライオンズクラブ・アワー」として、6ヶ月間広報活動を行った。

第1回22年9月1日。放送工



リア内の近江守山・栗東・草津3クラブ会長の鼎談。ライオンズクラブとは、各クラブの組織例会、諸事業の目指すものと実績等を語り合っ

て貰った。  
第2回10月1日議題「思春期のライフスキル教育プログラム」昨年全教員で研修を終えた、柳川久美子草津市立南笠東小学校長と、下田吉美地区ライオンズクエスト委員長との対談。委員長より、クエストの目的と教育プログラムの説明に始まり、学校全体で取組み子ども達の反応の芽生え等、現場の効果を校長に語って貰い、反響を呼んだ。

第3回11月5日。滋賀県立水環境科学館で11月23日開催のフォーラム第3回「水環境の未来予想」のPRを兼ねて、コーディネーターの酒井恵美子「えふえむ草津」社長との対談。琵琶湖の水保全の現状と未来への啓蒙を放送。



第4回12月3日議題「献血について」。県赤十字血液センターの川崎渉外係長と当クラブL駒



井献血委員長との対談。献血の必要性、県献血量不足故に近畿センターより融通を受けている現状と、月4回当クラブの奉仕活動PRの献血キャンペーン。

第5回23年1月7日「草津こ

ども環境会議」主催側市環境課山本主査・藤井主事を迎え、会議を助成し実行委員会へ参画を続けている、当クラブL平井委員長の出演。子ども達の環境勉強会としてスタート、7回より「子どもと大人の井戸端会議」として定着。2月5日実施の第10回記念大会のPRと、大人子どももの市民一般参加を呼びかけた。

第6回2月4日。L森井士朗地区PR・情報委員長を迎え、L山川当クラブ会長、L南第一副会長と討議。委員長より、国際協会・日本及び地区の歴史と組織、運営内容を語って貰う。10月にCN50周年を迎える当クラブの現状と発展への取組を披露。

議題・出演者選定からシナリオ作成、パソナリティーもクラブメンバーと手作り。地域に向けて、クラブ広報と市民への啓蒙の一助を果たしたと思っている。

草津ライオンズクラブ

情報・PR委員長 吉田 基

## 亀岡保津川LC

### 「STOP ブラックバス 守ろう アユモドキ！」

去る2月3日(木) JR亀岡駅の南北自由通路へ、亀岡市に生息する国の天然記念物、アユモドキの保護を呼びかける看板を設置いたしました。

この看板は、3D画像でアユモドキが浮き出て見えるようになっています。

アユモドキは、成魚は大きさが15センチ程度で口ひげがあり、亀岡市と岡山県の一部の河川にしか見られなくなっています。

亀岡市が取り組む環境保護の助けに、また、ふるさとにいるアユモドキを大事にしよう！と市民の皆さんに思ってもらえたらとの願いを込めて企画しました。

PR・情報・IT委員長 安藤 高次





# 新会員の紹介

おめでとうございます



L 藤井あつ子  
(S. 24年 8月 2日生)

京都チェリーL・C



L 田中 忠信  
(S. 30年10月10日生)

京都ときわL・C

(有)TAC  
(有)TAC 代表取締役  
不動産業



L 北代 貞男  
(S. 26年 8月24日生)

京都洛陽L・C

北代司法書士事務所  
所長  
司法書士



L 西村 良雄  
(S. 23年 1月10日生)

京都うずら野L・C

有限会社 丸益西村屋  
代表取締役  
京友禅体験工房



L 麻田 弘史  
(S. 19年 4月 8日生)

京都うずら野L・C

株式会社 創電  
代表取締役  
電気工事業



L 山本 享子  
(S. 26年 5月 8日生)

京都チェリーL・C



L 竹内 浩  
(S. 41年 4月30日生)

京都橘L・C

(有)マックスコーポレーション  
代表取締役  
不動産業



L 中野 雄介  
(S. 46年 2月 7日生)

京都うずら野L・C

株式会社 みやこコミュニケーションズ  
代表取締役  
電機通信業



L 角田 亜新  
(S. 45年 4月 9日生)

京都うずら野L・C

京都外国語大学  
大学講師



L 寺村 久司  
(S. 38年 2月 4日生)

京都うずら野L・C

株式会社 寺久  
代表取締役  
酒類卸売・小売業



L 清澤 伸幸  
(S. 24年 4月 8日生)

京都うずら野L・C

京都第二赤十字病院  
小児科部長  
小児科医師



L 岸本 哲  
(S. 39年11月26日生)

京都洛東L・C

(株)日農  
専務取締役  
食品卸売業



L 北橋 重治  
(S. 37年 2月 4日生)

京都嵐山L・C

(株)サン保険サービス  
営業部長  
保険業



L 平岩 亘  
(S. 34年12月 2日生)

京都嵐山L・C

株式会社 平岩  
代表取締役  
販促品卸業



L 南 顕融  
(S. 29年 4月28日生)

京都乙訓L・C

安養院  
住職 (代表役員)  
宗教法人



L 古川 耕一  
(S. 19年 3月21日生)

京都北L・C

株式会社 河内工務店  
代表取締役  
建築業



L 植村 敏彦  
(S. 20年 2月 7日生)

宇治L・C

(株)ユ・エム・アイ  
代表取締役 会長  
工業用樹脂加工



L 島本 千秋  
(S. 43年11月24日生)

京都むらさきL・C

桐井電設(株)  
役員



L 野田美代子  
(S. 12年 2月28日生)

京都むらさきL・C



L 田村 吉哲  
(S. 46年 8月19日生)

京都伏見L・C

田村実業  
代表  
運送業



L 林 健  
(S. 46年 1月26日生)

京都伏見L・C

焼肉屋 近肉  
代表  
飲食店



**L 相根 一雄**  
(S. 22年 9月20日生)

綾部L・C

綾部市議会  
市議会 議員



**L 福井 進**  
(S. 25年 3月18日生)

亀岡L・C

有限会社 最善  
代表取締役  
家電設置配送工事



**L 阿井 正雄**  
(S. 24年10月14日生)

亀岡L・C

丸正建設 株式会社  
代表取締役  
建設業



**L 八田 英司**  
(S. 50年11月29日生)

京都市南L・C

有限会社 新成建装  
代表取締役  
建設業(塗装工事・防水工事)



**L 山口 吉広**  
(S. 38年10月 7日生)

宇治L・C

代表者  
農業



**L 藤居 弘之**  
(S. 47年 6月 2日生)

網野L・C

弁護士法人 たんご法律事務所  
代表社員弁護士  
弁護士



**L 大西 修一**  
(S. 53年 8月17日生)

亀岡保津川L・C

有限会社 大西建産  
取締役  
産業廃棄物・収集・運搬業



**L 森 謙治**  
(S. 22年11月 3日生)

亀岡保津川L・C

森謙造園 株式会社  
代表取締役  
土木造園



**L 福井 次男**  
(S. 32年 6月 9日生)

綾部L・C

フクイ設備 有限会社  
代表取締役  
自営業



**L 安藤 和明**  
(S. 26年 8月 6日生)

綾部L・C

綾部市議会  
議会運営委員長  
市会議員



**L 高田 裕子**  
(S. 34年 1月22日生)

草津L・C

まごころ 有限会社  
代表取締役  
介護サービス業



**L 山本 正**  
(S. 33年 3月 7日生)

草津L・C

株式会社 ハワード  
代表取締役  
宅地建物取引業



**L 桑原 隆夫**  
(S. 38年 6月19日生)

高島L・C

高島鉦建(株)  
代表取締役  
総合建設業



**L 久保井 功**  
(S. 38年 5月20日生)

高島L・C

上田林業(株)  
取締役専務  
堆肥製造販売



**L 白岩 秀一**  
(S. 36年12月24日生)

久美浜L・C

白一農園



**L 竹谷 芳秀**  
(S. 30年12月14日生)

桜井L・C

大和興産 株式会社  
代表取締役  
保険代理業・特定運送業



**L 村上 直樹**  
(S. 58年 7月22日生)

彦根L・C

(株)ムラカミ  
営業部長  
塗装、防水業



**L 上田 容弘**  
(S. 42年 3月26日生)

彦根L・C

ビジネスインホテル くらま  
代表取締役  
ホテル旅館 飲食業



**L 木澤 成人**  
(S. 47年 7月 7日生)

日野L・C

滋賀県議会  
滋賀県議会議員  
議会議員



**L 川尻 嘉徳**  
(S. 19年 9月30日生)

野洲L・C

おうみ富士農協  
経営管理委員



**L 吉岡 功司**  
(S. 33年 2月27日生)

田原本L・C

南都銀行 田原本支店  
支店長  
金融業



**L 中西 史郎**  
(S. 17年 5月28日生)

田原本L・C



**L 西川 裕子**  
(S. 47年 7月24日生)

北葛城L・C

有限会社 西川保険サービス  
取締役  
保険代理店



# ご冥福をお祈り申し上げます



故 L米田 正嗣  
奈良 LC  
没 平成23年1月3日  
享年74才

### ライオン歴

27年在籍  
1995～1997 ライオネス連絡員  
2001年度 クラブ会計



故 L須田 俊和  
京都みやこ LC  
没 平成22年12月15日  
享年78才

### ライオン歴

1977年10月 入会  
1985～1986年度 会計  
2000～2001年度 第一副会長



故 L深見亥三男  
京都うずら野 LC  
没 平成22年11月19日  
享年63才

### ライオン歴

2006～2007年度 クラブ幹事  
2010～2011年度 クラブ会長



故 L細見 重式  
三和 LC  
没 平成22年10月24日  
享年87才

### ライオン歴

1975年 入会  
1986年度 会長  
2006年度 5R リジョン・チェアパーソン



故 L小林 直正  
奈良 LC  
没 平成23年2月3日  
享年89才

### ライオン歴

1974年10月23日 入会  
1991年 第33代会計  
1999年 第41代会長



故 L廣瀬 洋  
園部 LC  
没 平成23年1月27日  
享年88才

### ライオン歴

1963年10月 入会  
1986～87年 クラブ会長  
1989～90年 ゾーンチェアパーソン  
1996～97年 リジョンチェアパーソン



故 L吉田 薫  
香芝 LC  
没 平成23年1月15日  
享年89才

### ライオン歴

1985年 地区 PR 委員  
(北葛城 LC 時代)  
1986年 地区 YE 委員  
(北葛城 LC 時代)  
1987年 地区 YE 副委員長  
(北葛城 LC 時代)  
1991年 北葛城 LC 第28代会長  
2005年 9R1Z ゾーンチェアパーソン



故 L川勝 泰三  
京都桃山 LC  
没 平成23年1月4日  
享年75才

### ライオン歴

1972年 入会  
1993～1994年 第32代 会長  
1996～1997年 地区青少年指導委員長  
2002～2003年 4R1Z ゾーン・チェアマン



故 L古川 重男  
彦根金亀 LC  
没 平成23年2月10日  
享年79才

### ライオン歴

1978年10月 入会  
1991年度 クラブ幹事  
1997年度 クラブ会長  
2001年度 地区長期計画リサーチ  
副委員長  
2004年度 地区7R2Z ゾーン・  
チェアパーソン



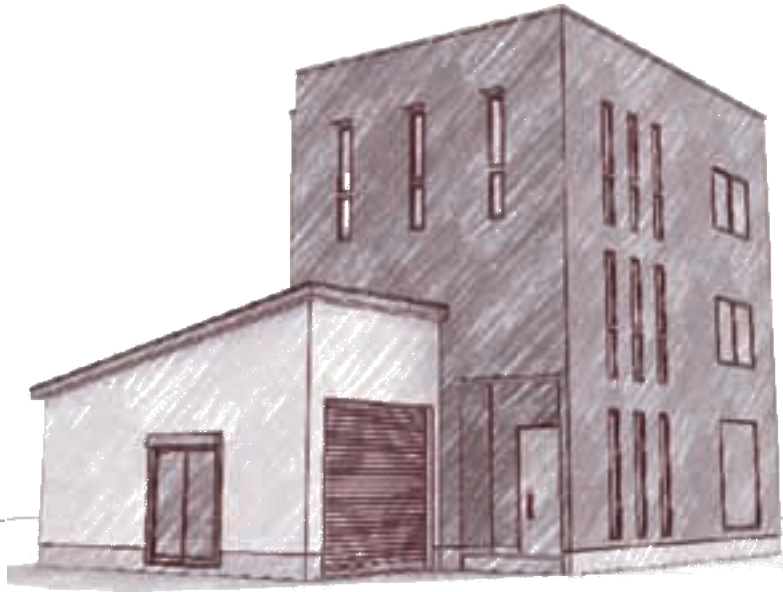
故 L北波 仁  
京都洛北 LC  
没 平成23年2月6日  
享年74才

### ライオン歴

1977年 入会  
1986～1987年度 幹事  
1992～1993年度 会長  
1995～1996年度 3R1Z ゾーン・  
チェアパーソン

地球に環境に人にやさしい木造りの家  
<http://www.kon-hb.co.jp/>

2011 3/3  
**OPEN**  
ショールーム  
木のあうち館



株式会社 **近藤工務店** 〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町63-2  
TEL: 075-643-4511 FAX: 075-643-4533

L 近藤 正信 (京都洛東LC)



一枚のキップから  
グループ・  
団体旅行の  
予約まで…。



旅に関わる  
すべてのおトクと  
感動をお届けする!!  
京阪津ツーリスト

ピクツァー  
K・K 京阪津ツーリスト (株)ジェイティービー認定パートナー店  
京都府知事登録第2-132号

京阪支社 京都支店 〒611-0041  
京都府宇治市横島町目川173番地 URL keihanshin-tourist.jp  
TEL(0774)24-7100代 FAX(0774)24-7103 E-mail kts-kyot@mx.biwa.ne.jp

L 森川 祐次 (京都堀川LC)

# 335-C地区環境保全写真コンテスト審査会

## 入賞作品

- \*地区ガバナー賞  
宮津ライオンズクラブ  
吉野 耕司  
「妖艶の世界」
- \*地区幹事賞  
近江守山ライオンズクラブ  
川北 美津夫  
「古代湖の辺 奥琵琶湖にて」
- \*地区委員長賞  
京都むらさきライオンズクラブ  
若林 ナナミ  
「渡りに備えて藤袴の蜜を吸うアサギマダラ」

妖艶の世界



## ざっくばらん ライフスキル (生きる力) 雑句馬乱

今、教育業界は大変な状況に置かれていると、通常、接触している中で、切実に感じます。

現場の教師は、学校で今、何が問題ですかの問いに、異口同音に「言葉使いが悪い」「落ち着きがない」「自信がない」「会話ができない」「やって悪い事と良い事の判断がつかない」等、学力が問題と指摘する教師がほとんどといていいほどおられない。いかに学級経営に苦勞されているか垣間見ることができます。

以前は生活の中で、自然と身に付いていくことが、現代社会では難しくなっており、それを、学校で教育の中で教えなければならなくなっている状況にあり、保護者は当然、学校で教える事と考えていますが、学校は学校で、具体的にどの様に教えていけばとの指導書が無いのが現状です。自然と身につけていった常識が出来なくなった原因としては、家庭(核家族化)、地域の力が弱くなった、外で遊ばなくなった等が一番大きく影響していると考えられます。

ライオンズクラブでライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムワークショップを開催して普及に注力しています、当地区においても、年間10回以上の2日間のワークショップを開催していますが、受講される教師の98%以上は、上司に言われて嫌々参加が現

状ですが、半日もしない内に、参加してよかったと思いが変わります。

日頃、学校が抱える様々な問題に有効なアプローチとなる可能性がプログラムに抱合されていると感じ取られ、現場に持ち帰り使えたと感謝されます。ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムは、系統だてて教えていく形をとっており、教えやすく、理解されやすいプログラムになっていることも高く評価されているところでもあります。

参加の教師が若ければ若いほど、ライフスキルが不足していることが多く、自分自身のためにもなり勉強になったとの感想を戴くことも多いです。

ライオンズクエストはこれからの学校教育の中では、有効なプログラムであり、先生を通じて、児童、生徒に伝え、教えることにより、ライフスキルを身に付け、社会に出て、一人の人間が、自信を持って、より豊かな生活が送れるようになれば、安全で、安心できる社会になると確信しています。

少子化の社会になり、日本の将来を担う子ども一人ひとりをより大事に育て、教育していくことは大事であることは言うまでもありません。

ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムのより一層の普及が問題解決の一助になれば、いやなると確信し全力を尽くしてまいります。

檀原 LC Y. S

## 表紙提供

〈画家情報〉三輪晃久先生 〈春心広沢池〉日展評議員 京都L.C.所属

## Lions Times

ザ・ライオンタイムズ (335-C地区機関紙)  
 発行日◆2011年3月20日  
 発行者◆ガバナー 奥村 啓二  
 発行◆ライオンズクラブ国際協会335-C地区 PR・情報委員会  
 編集者◆PR・情報委員長 森井 士朗(京都洛東LC)  
 事務局◆〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路  
 リーガロイヤルホテル京都3F 364号室  
 TEL. (075)344-0258  
 FAX. (075)344-0277

## 編集後記

今回、2010年度冬期 YCE 生のレポートを掲載させていただいております。

派遣先また日本でのホスト先において、全 YCE 生が充実した毎日を過ごしていたことがうかがえ、微笑ましく感じております。

また、年次大会が近づいて参りました。更なる各クラブ様のアクティビティと情報をお送り頂きたくよろしくご協力の程、お願い申し上げます。

地区 PR・情報副委員長 出路 敏秀  
 PR・情報副委員長 柄本 正晴(京都西の丘LC) 佐竹不二郎(京都醍醐LC)  
 木下 和美(綾部LC) 出路 敏秀(能登川LC)  
 吉村 完治(香芝LC)  
 担当運営副委員長 岸田 佳和(京都淀LC)